

## 研修参加報告書

記入日：2022年 2月 24日

東京電機大学での情報	
学部／研究科	工学部
学科・学系／専攻	情報通信工学科
研修期間	2022年1月19日～2022年2月11日

研修先情報	
大学・機関名	ビクトリア大学
国名	カナダ

研修に参加したきっかけ
東京電機大学学生ポータルサイト UNIPA の掲示で知り、興味を持ちました。英語能力に不安がありましたが、5段階のクラス別授業のため、参加してみようと思いました。また、オンラインでのプログラムであった事にも魅力を感じました。

研修参加の目的
英語能力全般の向上。週3回各1時間の4週間のプログラムで、特に Speaking 能力の向上を目指しました。

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）
4週間のプログラムで、1週目はスポーツについて、2週目は映画について、3週目は近所について、4週目はカルチャーショックについてのトピックで授業を行いました。5段階のクラス別の授業になっていて、私は3段階目のクラスに参加しました。クラスは先生が1人と生徒が10人で構成されていました。各回に事前学習と事後学習があり、トピックに合わせた語句、文、会話の内容についての課題があります。Reading・Listening・Speaking・Writingの4技能がバランス良い内容となっていました。1回の授業で3人から4人のブレイクアウトルームに分かれ、会話を行いました。毎授業ではありませんが、他のクラスの生徒が参加することや、他の先生が参加していました。授業で指定された質問をお互いにした後は、簡単に自己紹介をしたりしました。今回のプログラムの参加者は私以外の生徒が韓国人であったため、日本の事を質問されることが多かったです。毎回のブレイクアウトルームでリーダーを決め、そのリーダーが中心となり会話を行いました。全員がいる場で、先生が質問をすることがありましたが、それは特に挙手をすることや指名制ではなく、分かる人が自由に話していくという形でした。誰も答えなかった場合は、指名していました。クラス全体で行うアクティビティも多く、少人数クラスのため、1週間に少なくとも1回は全体で発言する機会がありました。正確な文章でなくても

単語を並べ、伝えようとする意志があれば、頑張って読み取っていただきました。基本的に英語でたくさん話すことが大切であるため、間違えた場合でも笑われることは無く、間違えてもたくさん話すべきという空気でした。また、週に1度任意参加のカフェソーシャルの時間があります。私は全てのカフェソーシャルに参加しました。ここでは通常のクラスの生徒と先生以外の人と交流することが出来ました。先生と現地のボランティアの先生がクラスの半数を占めていました。4人から6人程のブレイクアウトルームに分かれて会話をしました。会話の話題は事前に示されている内容をメインに行いました。楽しい時間を過ごすことが出来ました。

#### 研修を通して得たもの

英語で話すことについての自信が付きました。また、英語力の向上を行うことが出来たと思います。

#### 今後の学習計画

今回の研修で自身の **Listening** 能力が他の能力と比べて少し劣っていることが分かりました。そのため、**Listening** 能力を向上させることが出来るよう学習を行う予定です。具体的には、英語の音楽を聴くこと、英語の映画を日本語字幕で見ることなど、自分が興味あることで持続的に学習できるようにしたいと考えています。

#### プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）

特にありません。参加して良かったです。

以上